

防災情報の収集

曾於市ホームページ

曾於市では防災への取り組みを、インターネットを利用し地域の皆様へ情報サービスをしています。QRコードから曾於市ホームページの防災対策情報へ直接アクセスし、曾於市の防災への取り組みや防災対策情報を閲覧することができます。

webを
チェック

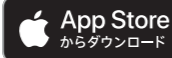


九州停電情報 提供アプリ



九州電力送配電の情報提供アプリです。エリアを登録することで停電などの通知を受けることができます。

iPhone・iPadを
ご利用の方



Androidを
ご利用の方



※Apple および Apple のロゴは、米国もしくはその他の国や地域における Apple Inc. の商標です。App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。 ※Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。

SOO Good FM

曾於市は、SOO Good FM [87.4MHz] を通じて曾於市民の生活に密着した情報の提供をしています。災害が予想される時、災害時、被災時には、必要な情報を発信しますので、カーラジオや緊急告知ラジオ等をお聴きください。



曾於市防災マップ(Web版)

曾於市内の防災マップをパソコンやスマートフォンから確認できます。

webを
チェック



曾於市公式SNS

<https://www.city.soo.kagoshima.jp/etc/sns.html>

曾於市では、エックスやフェイスブック、ライン、インスタグラムといったいわゆるSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を市政情報の発信ツールとして活用するとともに、市民と行政の交流を促進することを目的として活用しています。

youtube

<https://www.youtube.com/channel/UCeTAmJMUZHhLMkIi56k5e1Q>



X(エックス)

https://x.com/soo_city



Instagram

<https://www.instagram.com/soocity/>



Facebook

<https://www.facebook.com/soocity>



曾於市公式LINE

曾於市公式LINEをフォローしておくことで災害時にも素早く情報を受け取る事ができます。

友だち募集中!

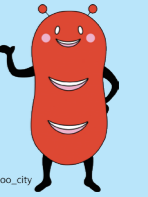
曾於市公式LINEの友だち登録がまだの方は右の二次元コードを読み取るか友達検索で「@city.soo」を検索して登録をよろしくをお願いします!



防災に関するメニューを用意しています

あなたのお住まいは地震対策できていますか？

～地震への備えと心構え～



家の中の安全対策

家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる。

- 部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えする。



安全に避難するため、出入口や通路にもものを置かない。

- 玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。



急な停電時の対応策を知っておく。

- ブレーカーの位置を知り、スマートフォンのライトや懐中電灯を活用できるよう準備しておく。

寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない。

- 就寝中に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性がある。



家具の転倒を防ぐ。

- 家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。

家の周囲の安全対策

屋根

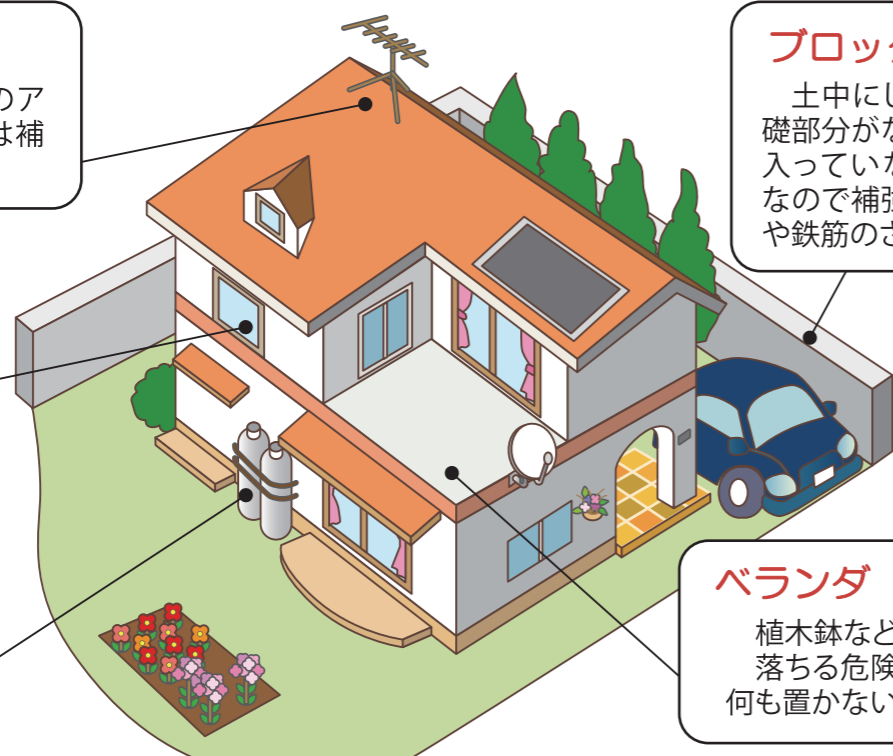
不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。

窓ガラス

飛散防止フィルムをはる。

プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく。



ブロック塀・門柱

土中にしっかりとした基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

ベランダ

植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。

住宅の耐震化と市の補助制度

- 地震による死者の多くは、家屋の倒壊が要因です。
- 耐震性が不足している場合は、耐震改修をしましょう。

ステップ1 チェックポイント

ひとつでも該当する場合には、専門家による耐震診断を受けましょう。

- 昭和56年(1981年)5月31日以前に建てた家である。
- 増築を2回以上している。増築時に壁や柱の一部を撤去している。
- 過去に床上・床下浸水、火災、地震などの大きな災害にあったことがある。
- 埋立地、低湿地、造成地に建っている。
- 建物の基礎が鉄筋コンクリート以外である。
- 一面が窓になっている壁がある。
- 和瓦、洋瓦などの比較的重い屋根葺材で、1階に壁が少ない。
- 建物の平面がL字型やT型で、凸凹の多い造りである。
- 大きな吹き抜けがある。
- 建具の立て付けの悪さ、柱や床の傾きなどを感じる。
- 壁にひびが入っている。
- ベランダやバルコニーが破損している。

市の補助制度を利用しましょう!!

耐震の耐震性能を評価するために、「耐震診断」を受けていただくとともに、診断の結果、危険性が指摘された場合には、住宅の「耐震補強」を行う事が重要です。曾於市では、市民の皆さんが耐震診断や耐震改修を受けやすい環境づくりをしていきます。

ステップ2 耐震診断

曾於市木造住宅耐震診断補助制度

ステップ3 耐震改修

曾於市木造住宅耐震改修工事補助制度

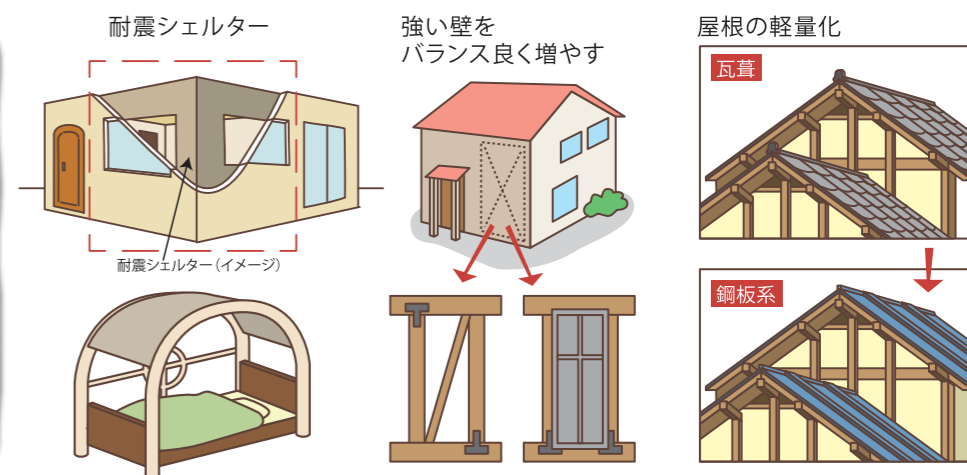
いずれの制度も、「昭和56年(1981年)5月31日以前に着工または建築確認通知を受けた」等の一定の要件があります。

簡易耐震診断は [こちら](#)⇒



家屋の倒壊から命を守るために、お住まいを耐震化しましょう。

- 耐震性が低い建物の補強や屋根の軽量化。



地震による火災は火災保険では保証されません。

- 火災保険と地震保険のセット加入が必要です。

